



クローバー通信

第 67 回 日本救急医学会関東地方会 パネルディスカッション 「救急医のダイバーシティと男女共同参画」に参加しました。

当院の救急医学 小野一之教授が会長を務める、日本救急医学会関東地方会のパネルディスカッション「救急医のダイバーシティと男女共同参画」に演者として出席しました。

座長の畝本恭子先生（日本医科大学多摩永山病院）、阿南英明先生（藤沢市民病院）のもと活発な討議がなされました。当院救急部からは市村健二看護師より男性看護師の立場からの男女共同参画の発表がありました。次に、草加八潮消防局 小泉由佳さんから消防士・救急救命士の立場からの問題点が報告されました。そして私前澤が、当院の女性医師支援センターの取り組みと今後の課題について話しました。最後に東海大学医学部救命救急医学 梅鉢梨真子先生から男女共同参画のための具体的な方策の発表がありました。

救急医学は医師・看護師・救命救急士などの多職種が連携し、救命率を上げる努力を重ねています。重症患者の管理や夜勤・当直業務が必要とされる環境で、ライフとワークを両立できる体制を整えていくことの重要性を感じました。大変有意義なディスカッションができました。

貴重な機会を与えていただきました、救急医学 小野一之教授に感謝いたします。

（前澤玲華）

下野新聞に掲載されました！

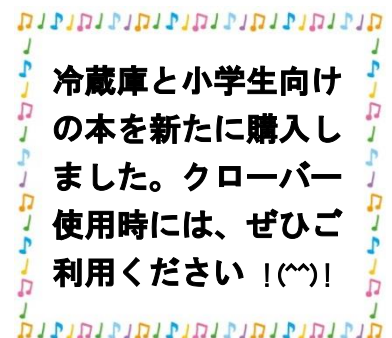
「母乳育児と仕事、どう両立？ 乳腺炎に注意、 「搾乳室」設置も課題」

<http://www.shimotsuke.co.jp/category/life/welfare/medical/news/20161219/2544009>

もしくは「下野新聞 母乳育児と仕事、どう両立」で検索してください。

H28年12月19日の下野新聞に女性医師支援センターの取り組みが紹介されました。

栃木県内で授乳・搾乳ができるスペースを設けている職場はまだ少数です。当院の女性医師支援センターのクローバーには授乳スペース、搾乳した母乳を保存しておく冷凍庫があります。このような取り組みを通じて、出産後も仕事を継続できるよう支援を行っています。クローバーは医師のみならず、全職員（学生を含む）使用可能ですので、職場復帰後に搾乳での母乳育児を検討されている方はご相談ください。



冷蔵庫と小学生向けの本を新たに購入しました。クローバー使用時には、ぜひご利用ください！(^^)！

